

1 研究主題

生きる力をはぐくむ白峰教育
 — 生徒が「考え、議論する道徳」をめざして —

2 はじめに

本校では、昨年度まで交流活動における「対話」を通して、主体的・対話的で深い学びの視点から、授業改善に取り組んできた。また、「特別の教科 道徳」全面実施に向けて、指導計画の作成や指導方法の在り方等の準備を進めてきた。

今年度は、「中心発問」「問い返し」「振り返り」をキーワードに、生徒が「考え、議論する道徳」をめざし、全教員の協働体制のもと、教材研究や指導案づくりを進める。

3 研究の具体

- (1) 道徳推進のための協働体制づくり
- ・ 全校一斉に行う道徳科の授業（木2）
 - ・ 道徳団会の実施（毎月1回）
指導案、ワークシート等検討
 - ・ 外部講師の招聘
研究授業の指導
授業づくり・評価の講話
 - ・ 教材の蓄積と保管

		1組		2組		3組	
5月30日	N	遡うんだよ、健司	Y	カラカラカラ	A	松葉づえ	
6月6日	M	民主主義と多数決の遠くて深い関係	N	遡うんだよ、健司	Y	カラカラカラ	
6月13日	A	松葉づえ	M	民主主義と多数決の遠くて深い関係	N	遡うんだよ、健司	
6月20日	Y	カラカラカラ	A	松葉づえ	I	民主主義と多数決の遠くて深い関係	

		4組		5組	
5月30日	S	遡うんだよ、健司	O	カラカラカラ	
6月6日	B	松葉づえ	K	民主主義と多数決の遠くて深い関係	
6月13日	O	カラカラカラ	B	松葉づえ	
6月20日	K	民主主義と多数決の遠くて深い関係	S	遡うんだよ、健司	

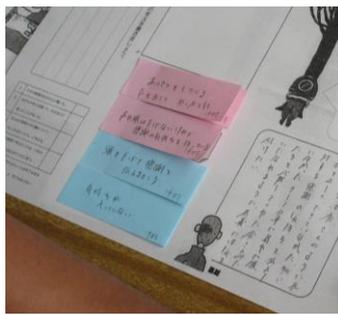
5クラス×4週間
9名の学年団教員で
授業を分担

【2学年1学期 ローターション道徳】

- (2) ローターション道徳の実施
- ・ 学期に1回、4週間分の授業をローテーション
[効果] 同じ授業を複数回実施・授業の相互参観→授業力の向上
複数の教師による生徒の見取り→多面的・多角的な評価
- (3) 「考え、議論する道徳」の授業づくり
- ・ 「対話的な学び」を重視した授業づくり
 - ・ 本年度の重点内容－「中心発問」「問い返し」「振り返り」
 - ・ 校内研究授業の成果の共有と日々の授業での実践



【まなボードを使って対話】



【2色の付箋を使って思考を深める】



【班での対話を板書で可視化】

- (4) 評価の在り方
- ・ 毎時間の自己評価
 - ・ 学期ごとの自己評価
 - ・ 教師の見取りの工夫
- (5) 道徳を学ぶ環境づくり
- ・ 「道徳の日」の放送と「道徳通信」の発行
 - ・ 道徳コーナーの掲示



【道徳コーナー（4月）】